

朝日新聞 時事ワークシート

天声人語 読み解き

朝日新聞の人気コラム「天声人語」を題材に、時事や一般教養、国語の分野から出題します。

● 次の「天声人語」（2017年5月22日付）を読んで、後の問いに答えなさい。

^a 土佐の長宗我部といえ、安土桃山時代に四国ほぼ全土を掌中に収めた猛将である。だが秀吉に攻め込まれ、合戦で家康に敗れて、歴史の表舞台から消え去る。

「江戸時代は家紋も家名も使うことを禁じられた。島という姓に改め、ある時期は門番の仕事に耐えた。再び元の姓を名乗ったのは大政奉還の後です」。そう語るのは17代当主の長宗我部友親さん(75)である。元共同通信社経済部長。記者時代は安倍晋太郎、渡辺美智雄、土光敏夫といった政財界の要人を取材した。名刺を出すすだれもが驚いた顔をする。「ご子孫ですか?」。香川県が地元の大平正芳・元首相は、「わが家は長宗我部様の足元にも及ばないよ」と感慨深げだったという。

今春、『^{ぜっか}絶家を思う』という本を刊行し、家系の今後をめぐって揺れる思いを吐露した。家訓にいわく「水の流れに抗せざるが如く生きよ」。その言葉通り、家制度にこだわりはない。子どもに恵まれなかったのだから、自分の代で幕を下ろすのは自然なことと感じる。

一方で、^b 忍従の歳月に耐えた先祖に十分報いることができたのか、もどかしさも募る。親戚筋は東北から九州に広がる。墓所は各地に散り、墓参もままならない。「この先、永代供養を寺社にお願いするか、墓じまいをするか。なかなか割り切れません」。戦国武将の末裔^{まつえい}でなくとも、昨今は残された実家や墓をどうするか悩む人が実に多い。考えに考え抜いて吐き出された^c「絶家」という言葉がまっすぐ重く胸に迫る。

1 次の言葉と同じ意味で使われている言葉を本文中から探して書きなさい。

- ① 表立って活動できるところ
- ② 思いをありのままに述べること

2 文中の下線部a、b、cについて、次の問いに最も適切な答えを①～④から一つずつ選びなさい。

(1) ^a 土佐の長宗我部の説明として当てはまらないものは、どれですか。

- ① 安土桃山時代に四国ほぼ全土を支配したこと
- ② 秀吉に攻め込まれ、合戦で家康に敗れたこと
- ③ 江戸時代には、長宗我部という姓を名乗れなかったこと
- ④ 大政奉還後、島という姓を名乗るようになったこと

(2) ^b 忍従の歳月とは、どのような時代のことですか。

- ① 四国を治めるために苦勞をした安土桃山時代のこと
- ② よい仕事に恵まれなるときもあった江戸時代のこと
- ③ 武士という身分を失った大政奉還後の時代のこと
- ④ 自分の代で幕を下ろすことになった今の時代のこと

(3) ^c 「絶家」という言葉に込められたものは、何ですか。

- ① 現代まで苦勞しながら受け継いできた家や財産を惜しむ気持ち
- ② 親戚が多く、すべてのお墓に参れないことを悔しく思う気持ち
- ③ 自分の代で幕を下ろすことへの覚悟と先祖へのもどかしい気持ち
- ④ 実家や墓を手放すことに悩む人たちを勇気づけたいという気持ち

3 このコラムのタイトルを10字以内でつけなさい。

--	--	--	--	--	--	--

朝日新聞 時事ワークシート
天声人語 読み解き

朝日新聞の人気コラム「天声人語」を題材に、時事や一般教養、国語の分野から出題します。

● 次の「天声人語」(2017年5月22日付)を読んで、後の問いに答えなさい。

a 土佐の長宗我部といえ、安土桃山時代に四国ほぼ全土を掌中に収めた猛将である。だが秀吉に攻め込まれ、合戦で家康に敗れて、歴史の表舞台から消え去る。

「江戸時代は家紋も家名も使うことを禁じられた。島という姓に改め、ある時期は門番の仕事に耐えた。再び元の姓を名乗ったのは大政奉還の後です」。そう語るのは17代当主の長宗我部友親さん(75)である。元共同通信社経済部長。記者時代は安倍晋太郎、渡辺美智雄、土光敏夫といった政財界の要人取材した。名刺を出すたびに驚いた顔をする。「ご子孫ですか?」。香川県が地元の大平正芳・元首相は、「わが家は長宗我部様の足元にも及ばないよ」と感慨深げだったという。

今春、『絶家を思う』という本を刊行し、家系の今後をめぐって揺れる思いを吐露した。家訓にいわく「水の流りに抗せざるが如く生きよ」。その言葉通り、家制度にこだわりはない。子どもに恵まれなかったのだから、自分の代で幕を下ろすのは自然なことと感じる。

一方で、忍従の歲月に耐えた先祖に十分報いることができたのか、もどかしさも募る。親戚筋は東北から九州に広がる。墓所は各地に散り、墓参もままならない。「この先、永代供養を寺社にお願いするか、墓じまいをするか。なかなか割り切れません」。戦国武将の末裔でなくとも、昨今は残された実家や墓をどうするか悩む人が実に多い。考えに考え抜いて吐き出された「絶家」という言葉がまっすぐ重く胸に迫る。

- 1 次の言葉と同じ意味で使われている言葉を本文中から探して書きなさい。
- ① 表立って活動できるところ
 - ② 思いをありのままに述べること

2 文中の下線部a、b、cについて、次の問いに最も適切な答えを①～④から一つずつ選びなさい。

- (1) a 土佐の長宗我部の説明として当てはまらないものは、どれですか。
- ① 安土桃山時代に四国ほぼ全土を支配したこと
 - ② 秀吉に攻め込まれ、合戦で家康に敗れたこと
 - ③ 江戸時代には、長宗我部という姓を名乗れなかったこと
 - ④ 大政奉還後、島という姓を名乗るようになったこと
- (2) b 忍従の歲月とは、どのような時代のことですか。
- ① 四国を治めるために苦勞をした安土桃山時代のこと
 - ② よい仕事に恵まれないうときもあった江戸時代のこと
 - ③ 武士という身分を失った大政奉還後の時代のこと
 - ④ 自分の代で幕を下ろすことになった今の時代のこと
- (3) c 「絶家」という言葉に込められたものは、何ですか。
- ① 現代まで苦勞しながら受け継いできた家や財産を惜しむ気持ち
 - ② 親戚が多く、すべてのお墓に参れないことを悔しく思う気持ち
 - ③ 自分の代で幕を下ろすことへの覚悟と先祖へのもどかしい気持ち
 - ④ 実家や墓を手放すことに悩む人たちを勇気づけたいという気持ち

3 このコラムのタイトルを10字以内でつけなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--